

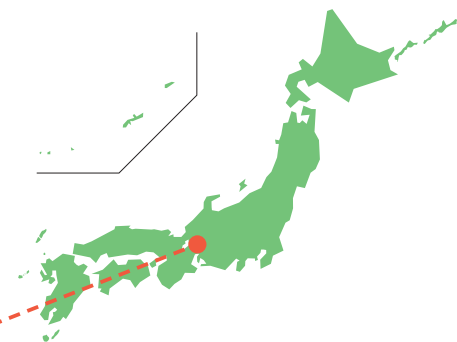
写真で見る

都市の変遷

今と昔の風景

地域の発展や変化にあわせて
移り変わってきたまちの姿。
今と昔を写真とともに振り返ります。

はしま
羽島市 (岐阜県)



令和
元年
(2019年)



若い世代から人気の住居エリア
となった岐阜羽島駅周辺

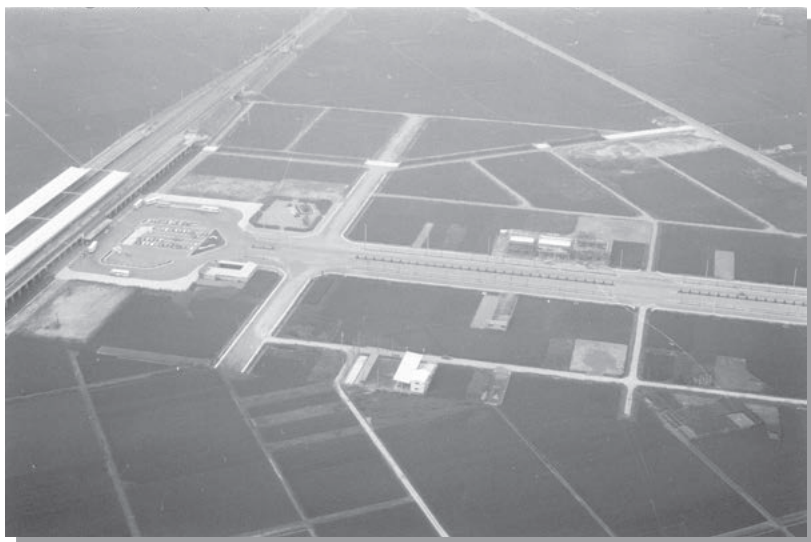


羽島市役所市長室
秘書広報課
つかもとけいすけ
塚本圭祐さん

高速交通の拠点都市 岐阜羽島

羽島市は岐阜県の南部に位置し、東海道新幹線岐阜羽島駅と名神高速道路岐阜羽島ICを併せ持つ交通の要衝です。二つの広域交通拠点のポテンシャルを最大限に生かすため、市では幹線道路の整備や土地区画整理事業を施行。企業誘致にも力を入れており、近年は駅周辺の宅地供給、IC周辺の産業集積が飛躍的に進んでいます。

今回は、岐阜羽島駅の開業当時と現在の航空写真を比較し、羽島市の変遷をご紹介します。田んぼの中の政治駅と揶揄された状況も、一変しました。1月に国が発表した公示地価によると、羽島市内の基準地が住・商・工のいずれの分野でも岐阜県内の上昇率上位地点にランクインするなど、まちづくりの成果が数字にも表れてきました。



昭和
41年
(1966年)

開業(昭和39年)から2年が経過
した岐阜羽島駅周辺